| 学校番号 | ３０２ |
|---|---|

# 令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 化学 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 化学　Vol.1　理論編、化学　Vol.2　物質編（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 新課程　ニューアチーブ化学（東京書籍） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学の知識を押さえながら、その知識が身の回りの自然事象等とどのように関連しているかということを理解してもらいます。そのために実験・観察や画像・映像・模型等を用いてそのイメージを持ちやすいように支援したいと考えています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
身の周りの物質の性質・構造・反応について、日常生活や身近な現象と関連付けて理解することで、学びに向かう力の育成とともに科学的なものの見方や考え方の基礎と基本的な知識を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
実験・観察を通して科学的な興味関心を育成し、実験・観察の基礎的な技能を身に付けるとともに実験結果の整理や考察を通して思考力、判断力、表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則を理解している。<br>科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 | 化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。<br>報告書を作成したり、発表したりして、科学的に探究する力を身に付けている。 | 化学的な事物・現象に対して、主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し、探究・解決しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 物質の変化 | ・酸と塩基 | a:物質量と化学反応式、酸や塩基について、その基本的な知識とそれらがどのように日常に利用されているかについて理解している。<br>b:物質量と化学反応式、酸と塩基の強さとｐＨの関係についての基本的な知識をもとに物質の量的な関係を考察・表現することができる。<br>c:物質量の概念や化学反応式とその量的関係また酸と塩基について意欲的に探求しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト<br>実験レポート | 定期考査<br>実験レポート<br>提出ノート | 提出ノート<br>振り返りシート |
| | | ・酸化還元反応 | a:酸化還元反応の基本的な知識とそれらがどのように日常に利用されているかについて理解している。<br>b:酸化還元反応について、それらを日常生活や社会と関連付けて考察し、表現している。<br>c:酸化と還元について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト<br>実験レポート | 定期考査<br>実験レポート<br>提出ノート | 提出ノート<br>振り返りシート |
| 2学期 | 物質の状態と平衡 | ・状態変化<br>・固体の構造<br>・気体の性質 | a:物質の構造と沸点・融点の関係やボイル・シャルルの法則について、基本的概念や知識を身につけている。<br>b:結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。<br>c:結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。 | 定期考査<br>確認テスト<br>実験レポート | 定期考査<br>実験レポート<br>提出ノート | 提出ノート<br>振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 物質の状態と平衡 | ・溶液 | a:溶解のしくみ、沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質、コロイド溶液について、基本的原理と知識を身につけている。<br>b:溶解度、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。<br>c:溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 | 定期考査<br>確認テスト<br>実験レポート | 定期考査<br>実験レポート<br>提出ノート | 提出ノート<br>振り返りシート |
| 3学期 | 物質の反応速度・化学平衡 | ・反応の速さとしくみ<br>・化学平衡 | a:物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡について理解している。反応の速さを探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を記録、整理している。<br>b:反応の速さと化学平衡についての考えを考察、表現している。<br>c:反応の速さ、化学平衡に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 | 定期考査<br>確認テスト<br>実験レポート | 定期考査<br>実験レポート<br>提出ノート | 提出ノート<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度